

たかおか 市議会 だより

No.28 9月定例会号
平成24年(2012年)11月1日発行

9月定例会のあらまし	2P
代表質問	4P
個別質問	6P
委員会の動き	10P



家持くん 利長くん

写真提供：伏木写友会

紅葉で彩られる高岡古城公園

編集■議会広報編集委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



補正予算・条例・意見書など

24議案を可決・同意

代表・個別質問に15人が登壇

9月定例会は12日に開会し、26日に閉会しました。
市長から平成24年度一般会計補正予算をはじめ24議案が、議員から意見書5議案が提出され、うち24議案を可決・同意し、平成23年度決算の認定をはじめ4議案を継続審査としました。
今定例会では、代表・個別質問に15人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・同意した主な議案等

条例

防災会議条例及び災害対策

本部条例の一部改正

東日本大震災を踏まえた大規模災害に対する即応力の強化、災害時における被災者対応の改善等を図るための災害対策基本法の一部改正に伴い、所要の改正を行うもの。

市営駐車場条例の一部改正

福岡駅前土地区画整理事業の進展に伴い、市営福岡駅前駐車場を設置するもの。

ふくおか総合文化センター

条例の一部改正

二上まなび交流館条例の一部改正

いずれも指定管理者制度を

その他

工事請負契約の締結

①高岡駅北口歩行者専用道等電気設備工事

JR高岡駅の北口駅前広場における歩行者と自動車の動線を分離し、歩行者の安全性を高めるため、歩行者専用道を建設するもの。

契約金額 2億4885万円

②(仮称)市民交流スポーツ広

場新築工事

契約金額 4億8300万円

③(仮称)市民交流スポーツ広

場新築機械設備工事

契約金額 1億7693万円

いずれも市民の生涯を通じた体力・健康づくりと幅広い



フィットネスジムで健康増進 ふくおか総合文化センターUホール

年代の交流を図るため、(仮称)市民交流スポーツ広場の健康増進施設を新築するもの。

財産の取得

①土地

市道高岡砺波インター線事業用地として、土地を取得するもの。

所在 砺波市下中条99番4

ほか

面積 6万5867㎡

取得価格 6億7843万円

②災害対応特殊救急自動車

高岡消防署の救急車を災害対応特殊救急自動車として更新整備するもの。

取得価格 2804万円

人事

教育委員会委員

山崎 隆志氏(新任)

(末広町)

公平委員会委員

笠井 千秋氏(再任)

(東京都新宿区)

議決結果一覧

初日提出議案

平成24年度 補正予算

- ◇一般会計……………全会一致で可決
- ◇介護保険事業会計……………全会一致で可決
- ◇高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇水道事業会計……………全会一致で可決

条例

- ◇防災会議条例及び災害対策本部条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇老人保養センター条例の廃止……………全会一致で可決
- ◇市営駐車場条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇下水道条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇火災予防条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ふくおか総合文化センター条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇二上まなび交流館条例の一部改正……………全会一致で可決

その他

- ◇指定管理者の指定の期間の変更(老人保養センター)……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(高岡駅北口歩行者専用道等電気設備工事)……………賛成多数で可決
- ◇工事請負契約の締結(仮称)市民交流スポーツ広場新築工事……………全会一致で可決
- ◇工事請負契約の締結(仮称)市民交流スポーツ広場新築機械設備工事……………全会一致で可決
- ◇財産の取得(土地)……………全会一致で可決
- ◇財産の取得(災害対応特殊救急自動車)……………全会一致で可決
- ◇平成23年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分……………全会一致で可決
- ◇平成23年度工業用水道事業会計未処分利益剰余金の処分……………全会一致で継続審査

認定

- ◇平成23年度高岡市民病院事業会計ほか3会計決算……………全会一致で継続審査

意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

■持続可能な市町村国保の構築を求める意見書

国民健康保険は、被用者保険に比べ保険料（税）負担が重いなどといった構造的な問題を抱えている。国民健康保険のあり方をどうするかは、国民皆保険制度を堅持するうえで非常に重要な課題である。よって、地方の意見をしっかりと踏まえながら、持続可能な市町村国保の構築に向けて、国と地方の役割を明確にし、国定率負担の引き上げによる公費負担の拡大など安定的財源の確保に向けた道筋を示すよう強く要望する。

■日本の主権と領土を守る法整備と領土教育を求める意見書

竹島・尖閣上陸事件は、日本の主権と領土侵害に対するわが国の認識の甘さ、対処法規の不備などを内外に知らしめる結果となった。主権侵害の意図を持った不法上陸を公務執行妨害や難民入管法違反で裁くのは、独立した主権国家のやることではない。領海侵犯に対する領域警備法を早急に制定すべきである。さらに、

竹島に関しては、韓国は小中学校より領土教育を徹底していると聞いており、領土教育を充実させるべきである。以上の早期取り組みを要望する。

■障害者に対する公的医療費助成制度の充実を求める意見書

重度障害者の医療費については、全ての都道府県で自己負担分に対する助成が行われている。しかし、平成18年4月の障害者自立支援法施行により育成医療などが自立支援医療に移行し、原則1割の利用者負担が導入され、地方財政が厳しさを増す中、各自治体の医療費助成制度においても、自己負担の導入・拡大、所得制限の導入といった制度の後退が懸念される。よって、

国において障害者に対する公的医療費助成制度を充実するよう強く要望する。

■北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書

北朝鮮が日本人の拉致を認め、初めて謝罪をしてから10年の歳月が流れた。北朝鮮の地で救いの手を待っている拉致被害者の苦しみと、拉致被害者の帰りを待つ家族の怒りや悲しみは今も続いており、拉致被害者とその家族の高齢化が懸念される中、政府は、拉致問題の早期解決にもはや一刻の猶予もないことをあらためて認識すべきである。よって、拉致問題の全容解明及び早期解決に全力で取り組みよう強く要望する。

◇平成23年度一般会計・国民健康保険事業会計ほか7特別会計決算………全会一致で継続審査

■最終日追加提出議案

平成24年度 補正予算

◇高岡市民病院事業会計………全会一致で可決

人 事

◇教育委員会の委員の任命………全会一致で同意
◇公平委員会の委員の選任………全会一致で同意

議員提出議案（意見書）

◇持続可能な市町村国保の構築を求める意見書………全会一致で可決

◇日本の主権と領土を守る法整備と領土教育を求める意見書………賛成多数で可決

◇障害者に対する公的医療費助成制度の充実を求める意見書………全会一致で可決

◇北朝鮮による日本人拉致問題の早期解決を求める意見書………全会一致で可決

◇「MV22オスプレイ」の配備中止を求める意見書………賛成少数で否決

議会日誌

6月定例会後～9月定例会前

- 6月 19日 議会広報編集委員会
21日～22日 港湾対策特別委員会行政視察
22日 新幹線・公共交通対策特別委員会
27日～29日 総務文教常任委員会行政視察
7月 6日 議会広報編集委員会
10日 港湾対策特別委員会
歴史文化・広域観光対策特別委員会
新幹線・公共交通対策特別委員会
11日～13日 経済消防常任委員会行政視察
13日 建設水道常任委員会
20日 総務文教常任委員会
23日 民生病院常任委員会
24日～26日 民生病院常任委員会行政視察
25日 経済消防常任委員会
26日 建設水道常任委員会及び現地視察
31日～8月2日 建設水道常任委員会行政視察
8月 3日 代表者会議
7日 議会改革検討委員会
8日～9日 歴史文化・広域観光対策特別委員会行政視察
10日 議員協議会
9月 4日 議会改革検討委員会
議会運営委員会
代表者会議
6日 正副常任委員長会議

9月定例会

- 9月 12日 議員協議会
本会議（提案理由説明）
議案説明会
13日 議会改革検討委員会
14日 本会議（代表質問）
18日 議会改革検討委員会
19日 議会運営委員会
本会議（個別質問）
20日 本会議（個別質問）
水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
21日 代表者会議
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
24日 議会運営委員会
議会改革検討委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
26日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議（議案など議決）
民生病院常任委員会

代表質問

今定例会では、2会派の代表が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



自民党議員会
山沼 茂敏

集中豪雨対策

問 市内の広範囲に及んだ集中豪雨の被害を総括したうえで、限られた財源の中、何を優先して対策を講じていくのか。

市長 今回の豪雨による被害は、短時間に大量の降雨があったことにより、山間部での



集中豪雨がもたらした大きな被害

土砂災害及びこれに伴う林道・市道・農業用施設への被害、都市部においては河川の氾濫などに伴う床上・床下浸水を含む浸水被害が発生した。今後は、被災した市道や林道などの復旧を最優先に行うとともに、河川・下水道・農業用施設など管理者の異なる施設の連携促進など、可能なことから取り組みたい。特に県管理河川の地久子川の改修については、緊急対策の要望を県に行い、狭隘な箇所での工事を緊急に実施することになった。また、平成24年度内に策定する緊急浸水対策行動計画の着実な実施を図るとともに、総合的な長期対策としての河川改修の早期促進について、国県に強く要請したい。

老朽空き家対策

問 老朽空き家は、景観・安全・住環境の面から近隣住民にとって大きな問題となっているが、宅地建物や不動産の関係団体などと連携し、その対策に取り組んでは。

市長 本市では、関係団体と

連携して、空き家情報バンクを開設し、空き家の利用を希望する人に情報を提供している。また、まちなかにおける中古住宅購入支援と隣接土地購入支援を実施し、空き家の利活用を図っている。一方、老朽空き家に対しては、平成11年以降、本市の指導により、20件程度の解体が行われているが、相続により権利関係が複雑になり、所有者を特定することが困難なことなどから、解体は進んでいない。本市としては、現在、老朽空き家の実態把握を行っている他市の事例を研究しており、所有者等に対し、適正管理の指導をするだけでなく、関係自治会や関係団体と連携し、防災や景観面の観点から老朽空き家対策の仕組みを作ることが重要だと考えている。

いじめ問題の取り組み

問 学校現場と教育委員会におけるいじめ問題に対する取り組みは、具体的にどのようなものか。

教育委員長 いじめ問題への

対応として、一人ひとりの児童生徒に、いじめは人間として絶対に許されないという人権尊重の精神を徹底させることがまずは重要である。また、日ごろから児童生徒の発するサインを見落とすことなく、アンケート調査や面接などを通して、いじめの早期発見に努めているところである。いじめを発見した場合には、校内で情報を共有し、迅速に組織的な対応をすることや、積極的に児童相談所や警察など関係機関との連携を図ることなどにより粘り強く対応することとしている。教育委員会は、命や人権の大切さ、いじめの防止、その対応法についてまとめた教育委員会メッセージを児童生徒や保護者に伝え、いじめ問題を、学校・家庭・地域・教育委員会等が一体となって取り組んでいくことが大切であることをあらためて訴えたところである。

並行在来線の利便性

問 北陸新幹線の開業により特急列車が廃止となれば、利用者の利便性が損なわれると考えられるが、見解は。

市長 JR西日本は、金沢以東では、新幹線の有効利用が基本で、特急列車の運行は考

えていないが、金沢駅での乗り継ぎを含め、できるだけ不便にならないよう検討したいとしている。本市としては、並行在来線開業後においても、現在の高岡駅の旅客需要に合った利便性を十分確保してもらいたいと考えており、先般、富山県並行在来線対策協議会でも要請した。また、平成25年度から検討されるダイヤ編成においては、24年5月に実施された旅客流動調査等を参考としてもらい、特急列車の運行の是非も含め、適切なダイヤ編成に努めてもらいたいと考えている。

災害廃棄物の受け入れ

問 災害廃棄物の早期受け入れについて、今後どのように進めるのか。

市長 これまで、焼却施設や最終処分場の地元住民などに、広域処理の必要性、受け入れ対象としている災害廃棄物の状況、各段階における放射線量や放射能濃度の基準及び測定方法、試験焼却の実施の必要性などについて説明し、了解を得てきているところである。現在、放射線量の測定地点や測定頻度などを含めた試験焼却の具体的な実施計画を、県と協議して作成してい

るところであり、作成次第、施設周辺の住民に示したいと考えている。そのうえで、試験焼却をできるだけ早期に実施し、その結果について施設周辺の住民と検証するとともに、市民に伝え、理解を得ていきたい。



自民クラブ

大井 正樹

豪雨に対する被害対策

問 記録的なゲリラ豪雨による被害対策として、都市部の雨水の排除や河川の改修促進も含め、総合的な早期の排水対策が求められるが、そのスケジュールは。

市長 緊急的かつ総合的に浸水対策を進める必要がある地区を対象にして、緊急浸水対策行動計画を平成24年度中に策定したいと考えている。排水対策のスケジュールは、井口本江や博労地区など浸水の被害が大きかった箇所について、緊急度合いを勘案し、短期、中期にわけて効果的な浸水対策を講じることとしている。地久子川の改修は、本市としても緊急対策の要望を県に行い、その結果、狭隘な

箇所での対策工事を実施することとしている。また、総合的な長期対策としての河川改修の早期促進については、引き続き国や県に対し、要請していきたい。

さらなる行財政改革

問 人口減少や少子高齢社会において、今後膨大な数の施設の維持管理に係る負担が大きくなることが予想される。施設の統廃合や複合化の促進など公共施設のあり方を考えていく必要があるが、さらなる行財政改革の考えは。

市長 本市の所有する建築物、道路、橋りょうなどの公共施設やインフラは、その多くが昭和40年代から50年代にかけ



少子高齢化が進む中、未来を担う子どもたち

て建設されたため、今後、大規模修繕や更新時期を迎えることから、膨大な財政負担が予想される。また、本市は、昭和63年をピークに人口減少が継続しており、人口減少社会を前提とした都市経営が求められている。そのため、平成24年2月に行財政改革推進本部内に施設の見直しに係る適正なルール、基準を設けるための作業部会を設置し、公共施設・インフラの基礎データの収集・分析を行っている。今後は、更新・大規模改修を行った場合の費用推計等の作業を行い、長期的な展望に立った指針の策定を念頭に置いて、基本的な考え方を整理したい。そして、施設の種別や地域の特性に合った公共施設・インフラのあり方を具体的に検討し、再編、集約、整理により、着実に行財政改革を推進していきたい。

総合的な福祉施策

問 少子高齢社会における福祉施策について問う。

(1) 育児をする親の子育て支援のために、今後さらに子育て支援センターの機能の拡充や施設の充実が必要になると考えるが、見解は。

(2) 施設中心の医療介護から、

可能な限り医療と介護の連携を図る施策を今後推進する必要がある。ゆとりある介護体制とともに、医療との連携や地域密着型サービスの一層の充実が求められるが、在宅介護サービスにおける地域密着型サービスの整備方針は。

福祉保健部長

(1) 本市では、高岡子育て支援センターを子育て支援の拠点施設と位置付けている。福岡子育て支援センターや児童館・児童センターの4子育て支援室、さらには保育所の44カ所の子育てサロンなど各地域にある子育て支援施設や保健センター、児童相談所などの子育て関係機関との人的ネットワークを強化し、子育て相談や情報の提供に関するワンストップサービスの充実を図ることとしている。また、魅力的でより多くの人に利用してもらえるよう、利用者の声を聞き、遊具などハード面での充実も積極的に検討したい。

(2) 本市では、これまでも市内10カ所の日常生活圏域で、10カ所以上の事業所の整備を進めてきたところであるが、平成24年度からスタートした第5期介護保険事業計画では、この圏域の全てに2カ所以上の事業所となるよう整備方針を定めたところである。今後

とも、認知症高齢者や医療サービスの必要性の高い要介護高齢者の増加が見込まれる中で、医療と介護の連携のための取り組みはますます重要である。今後の地域密着型サービスの整備については、日中・夜間24時間を通じて、訪問介護と訪問看護が連携し、定期巡回を行ったり、電話による対応や訪問、緊急時の場合の随時の対応など、これらが総合的に提供されるサービス内容を組み入れることを検討したい。

子どもが明るく育つために

問 いじめと不登校のない教育環境づくりについてどのように取り組んでいるのか。

教育委員長 教育委員会としては、全市あげていじめ問題に取り組んでいくため、命や人権の大切さ、いじめの防止、その対応法についてまとめた教育委員会メッセージをこの2学期の始業式に各学校で校長が代読し、児童生徒に伝えるところである。また、保護者に対してもメッセージを印刷物として配布し、いじめの問題を、学校・家庭・地域・教育委員会等が一体となって取り組んでいくことが大切である。

個別質問

今定例会では、13人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



金平 直巳
日本共産党

住民説明会の開催

問 浸水被害の原因と今後の対策に関する住民への説明会の開催を。

市長 本市では、浸水被害調査による地区ごとの原因を検証し、緊急的かつ総合的な浸水対策として緊急浸水対策行動計画を平成24年度中に策定する予定である。策定した計画は、市民と市政及びホームページに掲載するとともに、出前講座などを活用し、市民に広く周知したい。

認知症高齢者施策の強化

問 急増する認知症高齢者への施策の抜本的強化を。

市長 第5期介護保険事業計画の中で、三つの目標を掲げ、支援施策の充実・強化に取り組みことにしている。さらに、権利擁護事業、高岡あつかり福祉ネット推進事業などの施策を総合的に展開し、認知症

再稼働の反対表明

高齢者や家族が安心して暮らすことのできる地域社会を目指す。

問 志賀原子力発電所の直下に活断層の存在の可能性が専門家から指摘されている。志賀原子力発電所再稼働に反対の態度表明を。

市長 志賀原子力発電所再稼働に当たっては、住民の安全・安心の確保が最も大切である。北陸電力には、しっかりと調査を行ってもらい、国は調査結果を踏まえた対応を国民に対し、十分に説明してほしいと考える。



中山 欣一
民主クラブ

今後の災害対応

問 災害・危機管理対策について問う。

(1)河川氾濫等により浸水被害を起こす都市型水害対策の今後の方針は。
(2)本市における災害対応型自



災害時には無償で市民に飲み物を提供 災害対応型自動販売機

動販売機の設置状況は。また、災害緊急時の飲料水の提供や防災意識の普及などに有効なため、公共施設に積極的に導入すべきと考えるが、見解は。
市長 (1)集中豪雨によって、都市部においては、短時間に集中した大量の雨を排除しきれず、各地域で浸水被害が発生したため、平成24年度中に緊急浸水対策行動計画を策定し、総合的な浸水対策を講じたい。

総務部長

(2)現在、本市では災害対策の拠点となる庁舎や市民病院及び市指定避難場所などに23台設置されている。今後、飲料メーカーへ協力を依頼し、多くの市民の目に触れる場所や指定避難所などに導入を進めていきたい。

ワーク・ライフ・バランス

問 ワーク・ライフ・バランスの推進には、官民一体で連携を図り、市役所内にしっかりとしたフォロワー体制を構築すべきと考えるが、見解は。

経営企画部長 たかおかワーク・ライフ・バランス推進指針の策定を機に、市長をはじめ各部局長で構成する男女平等推進庁内連絡会議において、ワーク・ライフ・バランスを継続的にフォローしていく体制を強化したい。



吉田 健太郎
公明党

戦略的道路整備と利活用

問 五つの戦略的道路の整備は、観光客の誘致や物流の拡大につながるため、できる限り早期整備が望まれるが、整備実現に向けた具体的スケジュールは。

都市整備部長

北陸道新インターチェンジへのアクセス強化を図るルートは新幹線開業時期までの整備を目指し、その他のルートは関係機関との調整を進め、できるだけ早い時期の整備を目指したい。

青少年の健全育成

問 ネットいじめなどいじめの深刻化が増す中、本市ではどのように分析し、対策を立てていくのか。

教育長 市のいじめの現状は、平成23年度は小・中学校で計59件であり、24年度1学期末で24件である。対策としては、日ごろから児童生徒の発するサインを見落とすことなく、面接等を通して、いじめの早期発見に努めている。いじめを発見した場合は、粘り強く対応することとしている。

小水力発電への取り組み

問 二上浄化センターでの処理水を活用した小水力発電は先進的な取り組みだが、市は事業費の一部負担のほか、どのように関わっていくのか。
都市整備部長 小水力発電の完成後の稼働状況等を見守りながら、本市の下水道施設における小水力発電の設置の可能性について、調査・研究していきたい。



上田 武
社民党議員団

地域の実情に応じた対策

問 集中豪雨による浸水原因は各地域で異なるが、平成24年度内に策定する緊急浸水対策行動計画は、地域の意見を反映した計画とすべきでは。

市長 計画の策定では、浸水被害のあった地域住民の意見も踏まえ、国・県・市が連携しながら対策を検討することとしており、目標の明確な実効性のある計画としたい。

送迎バスの安全対策

問 保育園や幼稚園の送迎バスのシートベルトの設置状況は。また、シートベルトの設置等の安全対策を推進しては。

福祉保健部長 保育園で2台、幼稚園で4台の送迎バスにシートベルトが設置されている。また、国では、シートベルトの設置の必要性を含めた幼児の安全な乗車について検討しており、本市では、その結果を待って対応を検討したい。

安心できる国民生活

問 国民生活に大きな影響のある逆進性の高い消費税倍増

は、生活弱者に大きな負担を押し付けると思うが、見解は。

市長 消費税率の引き上げを含んだ社会保障・税一体改革関連法案の成立は、国・地方の安定財源の確保に取り組み改革の方向が示されたとして評価している。実施に当たっては、国民生活への影響をできるだけ緩和する措置を取り、国民が安心して将来展望が持てるよう進めてもらいたい。



曾田 康司
自民クラブ

歴史都市高岡のまちづくり

問 金屋町の重要伝統的建造物群保存地区選定に向けての進め方とスケジュールは。また、選定後の金屋町の本市での位置付けは。

教育委員長 早ければ平成24年中に選定されるものと期待している。選定されれば、高岡の歴史文化を訪ね歩く観光拠点の一つに位置付けられるとともに、歴史都市高岡のまちづくりにさらに弾みがつくものと期待している。

子育て支援センターの課題

問 御旅屋セリオ8階の子育て支援センターについて問う。

(1)子育て支援センターの課題と目指すところは。

(2)遊戯スペースや託児機能などを拡充すべきでは。

福祉保健部長 (1)休日には、乳幼児だけでなく、兄弟姉妹も一緒に来所することから、年齢差に応じた遊びのスペースの確保が必要である。今後は、幅広い年齢の子どもたちが楽しく遊び、訪れた家族全員が満足してもらえよう、活動内容などを工夫したい。また、学生などの次世代の親の育成を図ることも、重要な役割の一つである。

(2)隣接する屋上庭園の緑化工事が行われており、利用の幅が広がると期待している。今後、年齢差を考慮した遊び場スペース確保のため、8階フロアー全体の活用方法を検討したい。また、託児機能の設



子どもたちが仲良く触れ合う空間 子育て支援センター

置場所や運営方法などの課題を検討したい。



永森 茂
自民党議員会

効果のないいじめ対策

問 子どもたちが直接カウンセラーに相談し、子どもたちが同士の情報を拾い上げる仕組みづくりとして、コミュニケーションサイトの活用が有効と考える。いじめ対策としてICTの有効活用の見解は。

教育長 児童生徒が、いじめや心の悩みなどについて相談する手段として、ICTの活用は有効である。一方、いじめの解決に向けては、人と人との直接的な関わりによる指導援助が不可欠であり、ICTの利点も活かしながら、きめ細やかなチーム支援を推進する必要がある。

積極的な合宿誘致

問 高岡西部総合公園の新野球場建設を契機に、野球合宿の誘致に積極的に取り組むべきでは。

教育長 今後、新球場の完成に向けて、競技団体や宿泊施設の事業者の協力を得ながら、施設の空き情報の提供や問い

合わせに対するきめ細やかな相談対応等について検討し、合宿誘致が図られるよう努めたい。

元気なシニア世代

問 平成24年度のアクティブシニアチャレンジプロジェクトのモデル事業であるスタンプラリーに取り組む意図は。

経営企画部長 55歳以上のシニア世代を対象に芸術・文化などの新しい分野へのチャレンジを促し、自分自身を磨ききっかけとしてもらいたい。



水口 清志
自民クラブ

学校再編への検討

問 教育問題について問う。

(1)学校の適正規模・適正配置について、地区協議会からの意見も出そろっているが、今後のスケジュールは。

(2)小規模特認校制度を導入したが、教育委員会として西広谷小学校の廃校についての方向性を導き出した結果をどのように捉えているのか。

教育長 (1)今後、各協議会から提出された意見をもとに、平成24年内に学校規模適正化

の基本方針を策定したい。
(2)小規模特認校制が、地元児童の定着につながらなかったこと、さらに、今後、校区からの就学予定児童も見込めないことから、西広谷小学校の廃校を決定したものである。

災害対応の検証

問 集中豪雨の避難勧告によって避難した市民に対して、本市はどのような対応を行ったのか。

福岡総合行政センター所長

避難勧告発令に伴い、直ちに避難所の運営体制を整え、下向田・西明寺の避難対象7世帯に職員を派遣し、避難者の誘導と安全確保を図った。避難所の運営に当たっては、日用品や食事などを提供するとともに、避難者の相談や健康管理を行い、心と体のケアなどを図った。また、長期化する避難生活に配慮し、避難所を市有住宅大滝宿舎に変更することにより避難者が安心して生活できるように努めた。



樋詰 和子
公明党

地域の浸水対策

問 浸水被害を受けた地域の

排水能力を強化するためにも、早急に側溝・下水管の改善を。
市長 本市では、浸水対策として、既存の道路側溝等の排水路や下水管の能力の増強などについて検討が必要と考えている。平成24年度中に策定する緊急浸水対策行動計画の中で、地域の排水能力を強化するための道路側溝や下水管等の施設整備を計画的に進めたい。

魅力ある観光スポットに

問 おとぎの森公園の美しいバラ園を、新幹線新駅近郊の魅力ある観光スポットとするため、戦略的に整備をするべきでは。

都市整備部長

新幹線新駅から2km圏内という地理的条件を活かし、バラ園が本市の新たな観光スポットとなるよう県内外に広くPRしたい。また、おとぎの森公園内の2カ所のバラ園をつなぐ新たな動線などの整備も検討したい。

観光駐車場の整備

問 観光客の拡大を図るため、重要伝統的建造物群保存地区に選定される見込みの金屋町に観光バスが駐車できる観光駐車場を早急に整備しては。
産業振興部長 平成24年から、金屋町の住民や富山大学の学

識経験者を交えて、観光駐車場などの施設整備の検討会を始めている。今後、適地や規模など観光駐車場の課題について検討し、整備に向けた取り組みを進めたい。



川島 国
自民党議員会

地域共創による子育て

問 地域全体で放課後の子どもたちの健全育成に関わっていく仕組みが必要と考えるが、県が推進する、とやまっ子さんさん広場事業を活用し、高岡型地域共創子育て事業として推進していくべきでは。

福祉保健部長

とやまっ子さんさん広場事業が現行の放課後児童健全育成推進事業を補完する施策として、取り組むことが可能か研究したい。

集中豪雨からの防災対策

問 中山間地域の防災対策について問う。

(1)集中豪雨による被災を教訓に、集中豪雨が中山間地域を再度襲来した場合、初動は何をし、1時間の間にどのような緊急避難体制を取るべきか。
(2)普段から危機管理体制を有する際に即時対応していくた

めに、どのような対策を講じていくべきか、見解は。

総務部長

(1)初動体制は、職員の参集及び体制の整備、情報収集、避難対応等を速やかに行うこととしている。今後、

地域防災計画の風水害編・土砂災害編・火災編において時系列の対策を検討したい。

市長

(2)土砂崩壊による住家被害など平野部とは異なる課題をあらかじめ定めるため、災害時孤立集落対策について留意すべき項目を掲げ課題を整理した。今後、中山間地域の現状を踏まえ、災害発生時に速やかに対応できるように、中山間地の防災体制の充実強化に取り組んでいきたい。



金森 一郎
政峰会

観光情報を発信

問 観光施策について問う。

(1)環境に配慮しながら観光地を巡るスマート・ドライブ&ステイプロジェクトの高岡市内での狙いと検討内容は。

(2)新幹線開業に向けた機運が高まりつつある中、各種団体で観光PRが行われているが、団体間の連携や情報発信の一元化を市が主導的に進めてい

くべきでは。

産業振興部長

(1)電気自動車でエコなドライブ観光ができる都市イメージの全国発信をプロジェクトの狙いとしている。また、市内観光スポットにWi-Fi機能を持つ充電スタンドを設置し、観光情報を提供することで、利便性の向上を図ることとしている。

市長

(2)本市では、官民一体となって設置された新幹線まちづくり推進高岡市民会議の取り組みに積極的に参画している。また、観光PR事業の推進に当たっては、官民が、それぞれ主体的に、かつ、連



新幹線開業に向けて飛越能の食が集結 飛越能・食の祭典 in TAKAOKA

*Wi-Fi：標準規格の無線LANを利用した機器間の相互接続性が認証していることを示すブランド名。

Wi-Fiが搭載されている機器は、無線アクセスポイントを利用してインターネットに接続することができる。

携して取り組むことで、事業効果が最大となる仕組みの構築が重要だと認識している。

緊急時の体制強化

問 災害発生時には対策本部が設置される市役所本庁舎の耐震化を急ぐべきでは。

総務部長 市役所本庁舎は、被害状況の情報収集や災害対策指示などの応急活動の拠点施設となることから、現在、本庁舎の耐震化検討ワーキンググループを組織し、耐震工法に関して検討を行っている。



進 島村
社民党議員団

事故の原因究明と安全対策

問 国会事故調査委員会の福島第一原子力発電所の事故は人災であるという報告書を、本市としてどのように受け止め、今後の原子力防災対策に活かそうとするのか見解を。

市長 報告は、事故対応の問題点などを詳細に分析され、その結果として事故原因を人災としたことは重く受け止めている。市としては国や県の原子力規制委員会の動向を見定めながら、市民の安全を第一に考え、地域防災計画の見

直しを進めていきたい。

災害廃棄物の広域処理問題

問 災害廃棄物について問う。

(1) 岩手県山田町から富山県に持ち込まれる災害廃棄物は、可燃物として県内処理のめどが付いているのにも関わらず、環境省の広域処理ありきの指導で準備されたのではないのか。

(2) 富山広域圏などでは地域住民を対象に説明会が開催されているが、市は、なぜ誰でも参加できる広域処理に関する住民説明会を開催しないのか。

生活環境部長 (1) 環境省と岩手県における災害廃棄物の広域処理の見直しの中で、不燃混合物は、岩手県内の復興資材等として再生利用を図ることとし、可燃物は、広域処理の対象としたものである。

(2) これまで、焼却施設や最終処分場の地元住民に広域処理の必要性や安全性確認のための試験焼却の実施の必要性などについて説明してきた。



立志 酒井
自民党議員会

和風の新型車両

問 北陸新幹線に導入される新型車両のデザインの感想と

地場産品の活用は。

市長 JR西日本に地場産品の活用を提案していたところ、伝統文化で地域をつなぐというコンセプトで外装のデザインの構成色の一つが銅器をイメージする銅色と発表されることがから、本市の提案に一定の理解がなされたと考えている。

地元民に愛される駅に

問 新幹線新駅の建設工事が着工されたが、内装・外装への地場産品の活用について現状は。

都市整備部長 設計内容によれば、駅舎の内装や外装にアルミ建材が使用されているほか、高岡銅器の発色加工を活用した壁面塗装など高岡の地場産品が多数採用されている。

高岡から魅力を発信

問 子どもたちに夢や希望を与えるドラえもん電車が万葉線で運行されているが、本事業の効果と評価は。

経営企画部長 ドラえもん電車は、藤子・F・不二雄氏が子どもたちに伝え続けてきた世界観を高岡から発信し、未来に伝えていきたいとの思いから運行されることとなった。全国の新聞等で報道されたことから、電車に乗るために高

岡に行きたいとの連絡をもらっており、高岡の魅力の再発見、知名度向上や来訪者の増大につながると考えている。



大雄 石須
社民党議員団

若手職員の登用

問 現在の高岡市職員の30代後半から40代が極端に少ない年齢構成を考慮して、若手職員を積極的に登用しては。

市長 本市では、今後、多数の経験豊富な職員が退職していくことから、若手・中堅職員の育成が急務となっている。職員には早めに主要な政策部署での経験を積ませるなど、計画的に次世代を担う人材を育成していきたいと考えている。

並行在来線新駅設置

問 高岡・西高岡駅間に新駅を設置しても乗車人口は増加しないと考えるが、並行在来線の新駅設置の調査状況は。

都市整備部長 本市のまちづくりの観点も踏まえたうえで、新駅を設置する場合に必要な周辺の道路整備や土地利用等の現状把握、新駅立地候補地の選定、駅施設や都市施設の

整備構想の検討などの作業を進めており、平成24年度末までの完了を目標としている。

魅力ある伏木富山港

問 伏木富山港に寄港した観光客に悪い印象を持たれないためにも、万葉ふ頭の鉄くずが見えない工夫を県に要望すべきでは。

建設部長 金属品などの背後貨物は、現状では擁壁で囲っており、これ以上の対応は貨物の積み降ろしに支障となり、費用の問題もある。当面は伏木港の魅力創出に努めながら、背後貨物の取り扱いについては港湾管理者に要望したい。



物流拠点として重要な役割を担う伏木富山港

委員会の動き

4 常任委員会では、委員が次の観点に立って当局の考えを聞き、付託議案の審査を行いました。

○総務文教常任委員会

◆個人市民税、固定資産税が増額補正となっているが、その主な要因は。

◆ふるさと応援基金繰入金として300万円計上されているが、ふるさと納税をどのようにPRしているのか。

◆防災事業費の自主防災組織育成事業費では、津波対策及び緊急浸水対策として、自主防災組織の防災資機材の整備を支援するが、具体的な配備箇所と購入する機材の内容は。

◆(仮称) 市民交流スポーツ広

場新築工事は、限られた敷地にコンパクトに設計された印象を持っている。事業に着手するときに敷地の拡張を考えなかったのか。

○民生病院常任委員会

◆地域密着型サービスの平成25年度以降の整備の予定は。

◆こども医療費助成をさらに拡充すべきでは。

◆バス事業者に対する負担金の詳細は。また、それによりバス事業者は企業努力を惜しむようになるのではないか。

◆介護保険事業会計の繰越金のうち、1億円余りを基金に積み立てるが、保険料軽減の財源とすべきでは。

○経済消防常任委員会

◆北陸新幹線開業を見据え、伏木曳山祭観光誘客強化事業

12月定例会の予定

12月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、11月26日(木)開催予定の議会運営委員会で決定されます。

4日(木)	11時	議員協議会
	13時	本会議 (認定議案議決・市長の提案理由説明)
6日(土)	9時	議会運営委員会
	10時	本会議 (個別質問)
7日(日)	10時	本会議 (個別質問)
11日(木)	10時	総括質問
12日(金)	13時	民生病院常任委員会
	13時	経済消防常任委員会
13日(土)	10時	議会運営委員会
	13時	建設水道常任委員会
	13時	総務文教常任委員会
17日(月)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案・意見書など議決)

決算審査の日程

平成23年度決算審査は、下記のとおり開催される予定です。

11月 6日(木)	10時	水道病院決算特別委員会
	13時	決算特別委員会
8日(土)	9時30分	決算特別委員会
	10時	水道病院決算特別委員会
9日(日)	9時30分	決算特別委員会
	10時	水道病院決算特別委員会
13日(木)	10時	水道病院決算特別委員会
	13時	決算特別委員会

市議会の傍聴

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本議会	委員会
23年12月	39人	3人
24年 3月	40人	0人
24年 6月	17人	1人
24年 9月	67人	1人

★編集委員

◎川島、○曾田、吉田、中山、永森、金森、上田、水口、南部、青木、荒木

(◎委員長 ○副委員長)

これから、本市の課題をしっかりと議論し、より開かれた、より信頼される議会へと努力してまいります。

(中山記)



子どもたちの夢を乗せて出発 万葉線ドラえもん電車

について、国の災害査定のスケジュールは。また、農業用施設等の災害復旧工事は、平成25年の田植え時期までには完工するのか。

○建設水道常任委員会

◆近年、除雪作業におけるオペレーターの確保が困難となっているが、今冬の確保の見込みは。

◆道路改良事業費で実施される事業内容と事業箇所は。

◆通学路緊急安全対策事業費では、教育委員会が調査した

緊急に安全対策を実施すべき12校下24カ所の通学路の危険箇所のうち、特に緊急度の高い9校下18カ所の安全対策を実施することだが、詳細と整備内容は。また、残りの危険箇所の整備予定は。

◆緊急浸水対策行動計画の計

画期間は何年間か。また、計画される事業のうち、短期・中期・長期の対策事業をどのように考えているのか。

編集後記

暑かった夏が過ぎ、秋も一段と深まってまいりました。平成24年7月には、記録的な集中豪雨により、土砂災害や浸水被害が多く地域で発生しました。被害を受けられた方々に対し、心よりお見舞い申し上げます。国の激甚災害指定による助成を活用し、一日も早い復旧に努め、総合的な浸水対策に、議会・行政が一丸となって取り組みます。

また、現在、地域防災計画の見直しを進め、今後は新しい計画に基づき、災害予防や応急対策などの体制を確立し、安全・安心体制の強化を図っていくこととしております。